



信州やまなみ国スポに向けて
長野剣連強化だより
＜行こう。それぞれの頂へ＞

発行日：10月20日 第3号
発行：（一財）長野県剣道連盟
強化委員会 広報担当

今月は、滋賀県で国民スポーツ大会が開催され、成年男子が参加しました。（結果は【成年男子】記事に記載）
信州やまなみ国スポに向け、それぞれの部門で強化に励んでいます。

【中学生】

《夢想塾練成会》

10月4日、夢想塾練成会に参加しました。7月の強化練習の際に、アドバイザーの香田先生から教えていただいた縁を切らない、接近したら鍔競り合いに入らずに技を出す、今までの練習や強化で大事にしてきたつくりを早くする、足を使って攻めることを意識して試合をするように全体で確認してから練習試合に臨みました。

試合の中で、以前よりも足を使った攻めの意識を持って技を出したり、打った後のつくりを早くし、先に攻めたりする場面が増えました。また、縁を切らずに次の動きにつなげる意識を持つことで、試合全体の流れをつかむ感覚も少しずつ身についてきたと感じました。また、それぞれの課題も明確になり、今後の稽古で何を意識して取り組むべきかが具体的にありました。今回の練成会で学んだことを、今後の稽古や試合にしっかりと活かしていきたいと思います。



★今後それぞれのチームで練習の際に意識してほしいこと★

★打った後のつくりを早くする

→ 次の技が打てる体勢、相手の打突に反応できる体勢を意識しましょう。

★接近したら鍔競り合いに入らずに技を出す

→ 近間や相手と接近した瞬間に技を出せると良いです。また、自分が打って終わりにできるよう、よけたままにせず、そこから技を出しましょう。

★相手との駆け引きを意識

→ 打突を狙うだけでなく、相手の動きを見て誘ったり、攻めて崩したりする意識を持ちましょう。技を出す前の攻めが大切です。

★練習中から試合を意識した動き

→ 稽古でも「一本を取りに行く」気持ちで。情性で打つのではなく、試合の中で使える技・流れを意識して行いましょう。

【成年男子】

《わたSHIGA輝く国スポ・障スポ》

開催地：滋賀県（湖南市） 日 時：令和7年9月28日～10月1日

長野県代表として滋賀県で行われた国民スポーツ大会に出場いたしました。

大会に先立ち、総合開会式にも参加し、全国各地から集まった選手たちと交流を深めるとともに、長野県副知事をはじめ、長野県スポーツ協会や県関係者の皆様から温かい激励をいただきました。開会式の会場では、地元・滋賀県での開催を祝う盛大な雰囲気と、地域全体が一体となって大会を盛り上げようとする熱気を肌で感じる事ができました。

また、長野県選手団の一員として参加する中で、「県を代表して戦う」という責任と誇りを改めて実感し、「信州やまなみ国スポ」に向けて、より一層気持ちを引き締める良い機会となりました。

大会では、1回戦はシード、2回戦で熊本県代表チームと対戦しました。結果は 0 対 4 で敗退となりましたが、強豪チームとの対戦を通して、自身の課題やチームとしての今後の方向性を明確にすることができました。

試合後には、香田先生より直接ご指導をいただき、打ち切りの技の正確性や引き技の重要性、さらにはチームとして勝利するための戦略など、実践的なご助言を多くいただきました。これらのご指導は、今後の稽古や試合運びにおいて大きな糧となるものです。

大会を終え、ひとつの節目を迎えましたが、今回の経験を糧に、「信州やまなみ国スポ」に向けてさらなる成長を目指してまいります。チーム全体としても、個々の技術と連携力の向上を図り、長野県代表としての誇りを胸に日々の稽古に励んでいきたいと思います。引き続き、ご支援・ご声援のほどよろしくお願いいたします。

【試合結果】2 回戦敗退

長野 0 — 4 熊本

先鋒 大字根 ⊗ — ドメ 源

次鋒 西澤 メ — ⊗ 曾我

中堅 志村 — ⊕コ 西村

副将 宮尾 — ⊗メ 平田

大将 榛葉 — ⊗ 米田

